

臨床実習入門〈F3・G1-3〉

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田顕也

臨床実習入門

4年生

平成30年12月10日（月）～平成31年1月11日（金）

12日間：120時間

- | | |
|----------------|---|
| (1) 12月10日（月） | 医療面接Ⅰ：コミュニケーション概論
医療面接Ⅱ：医療面接の実際
医療面接Ⅲ：医療面接の評価法、診療録の記載
院内感染（講義） |
| (2) 12月11日（火） | 医療面接：ロールプレイ
共用試験について
医療安全（講義） |
| (3) 12月12日（水） | 身体診察法Ⅰ：頭・頸部（眼底、鼓膜を含む） |
| (4) 12月13日（木） | 身体診察法Ⅱ：胸部（心音・呼吸音、乳房を含む） |
| (5) 12月14日（金） | 身体診察法Ⅲ：腹部（直腸診、前立腺診、婦人科診、導尿を含む） |
| (6) 12月17日（月） | 身体診察法Ⅳ：神経診察 |
| (7) 12月18日（火） | 身体診察法Ⅴ：バイタル・血圧 |
| (8) 12月19日（水） | 外科臨床実習Ⅰ：創傷治癒と管理、基本的手術操作、採血 |
| (9) 12月20日（木） | 外科臨床実習Ⅱ：消毒と無菌操作、手洗い・ガウンテクニック、採血 |
| (10) 12月21日（金） | 小児の身体診察、救急処置・心肺・蘇生法：救急時のバイタルと心肺蘇生 |
| (11) 1月10日（木） | SPによる医療面接（ロールプレイ）、四肢と脊柱 |
| (12) 1月11日（金） | チーム医療研修 |

学生のグループ：12グループ、各9～10名（男／女が1以上となるよう配分）

担当教員：内科学1、内科学2、内科学3、循環器内科学、血液内科学、神経内科学、腎臓内科学
神経精神医学、小児科学、救急・集中治療医学、外科学1、外科学2、脳神経外科学
整形外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、産科婦人科学、泌尿器科学、歯科口腔外科学
皮膚科学、リハビリテーション医学、院内感染対策委員会、医療安全推進部

客観的臨床技能試験

（共用試験OSCE）

日時：平成31年1月17日（木）

場所：高度医療人育成センター（予定）

内容は当日、発表

実施責任者：教育研究開発センター センター長

担当教員等：学内教官および学外評価者

臨床技能試験不合格者の対策

再試験を実施する。この処置で不合格の場合は臨床実習に進めない。

評価の方法は、進級判定の基準による。

臨床実習入門日程表

平成30年

	12/10(月)	12/11(火)	12/12(水)	12/13(木)	12/14(金)	
1限	医療面接法 I	医療面接 (ロールプレイ)	身体(頭部・頸部) ・正常	身体(胸部)・正常	身体(腹部)・正常	1限
2限	医療面接法 II		病態(眼底、鼓膜 を含む)	病態(心音・呼吸 音を含む)	病態(直腸診・婦 人科診を含む)	2限
3限	医療面接法 III	共用試験について	正常 (ロールプレイ) :評価	正常 (ロールプレイ) :評価	正常 (ロールプレイ) :評価	3限
4限	院内感染		医療安全	病態 (シミュレーター) :評価	病態 (シミュレーター) :評価	病態 (シミュレーター) :評価
5限						5限

	12/17(月)	12/18(火)	12/19(水)	12/20(木)	12/21(金)	
1限	身体(末梢神経・筋)・ 正常	身体(バイタル)・ 正常	創傷治療	無菌操作	小児の身体診察	1限
2限	病態(神経所見)	病態 (高血圧・低血圧)	基本操作	清潔操作		2限
3限	正常(ロールプレイ) :評価	正常(ロールプレイ) :評価	ロールプレイ	ロールプレイ	救急	3限
4限	病態:評価	病態:評価	採血/評価	採血/評価		4限
5限						5限

平成31年

	1/10(木)	1/11(金)	
1限	全体のレビュー (SPによる医療面接) ※12:00終了予定	チーム医療研修	1限
2限			2限
3限	3限		
4限	四肢と脊柱		4限
5限			5限

時間割(変則)
1限 8:50~10:00
2限 10:10~11:20
.....休憩.....
3限 12:20~13:30
4限 13:40~14:50
5限 15:00~16:10
時間割は目安です

1/17(木)
OSCE (共用試験)

【場所】

高度医療人 育成センター 2階 スキルスラボ	高度医療人 育成センター 4階 OSCE室	高度医療人 育成センター 5階 大研修室
------------------------------	-----------------------------	----------------------------

注) 臨床実習入門の詳細は、別冊「臨床実習入門の手引き」等による。